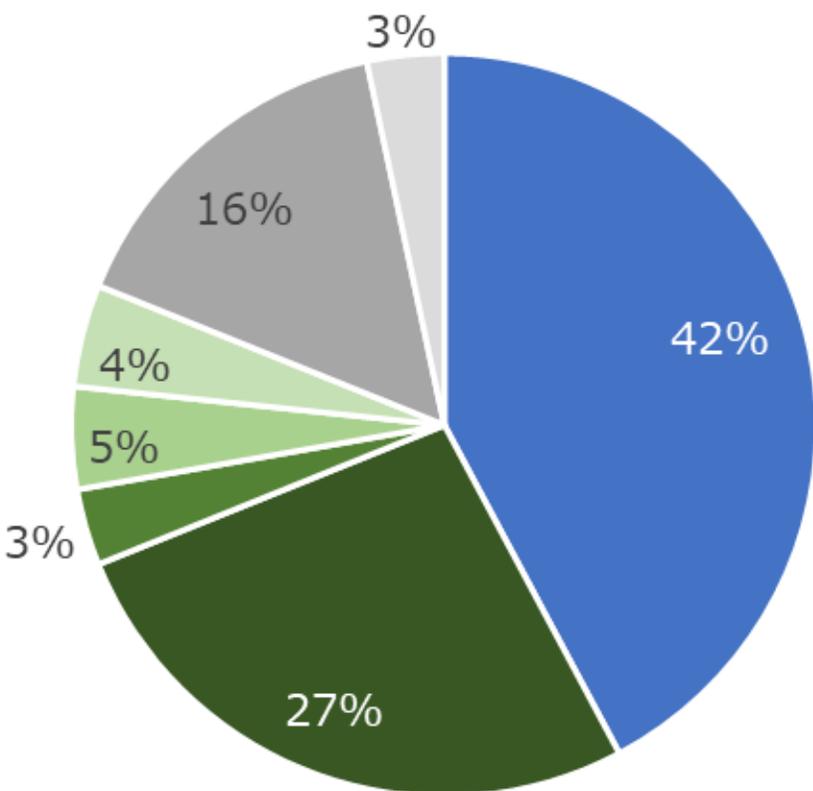


# 社員へのワクチン接種の方針と 実施スケジュール

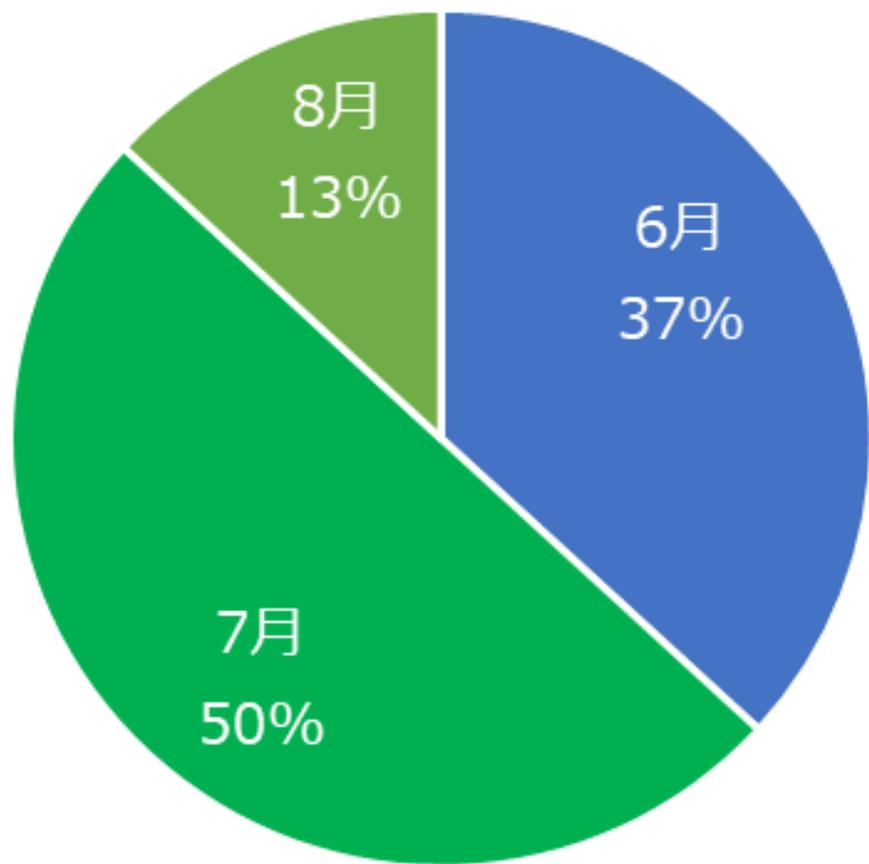
# 社員への新型コロナワクチン接種の方針



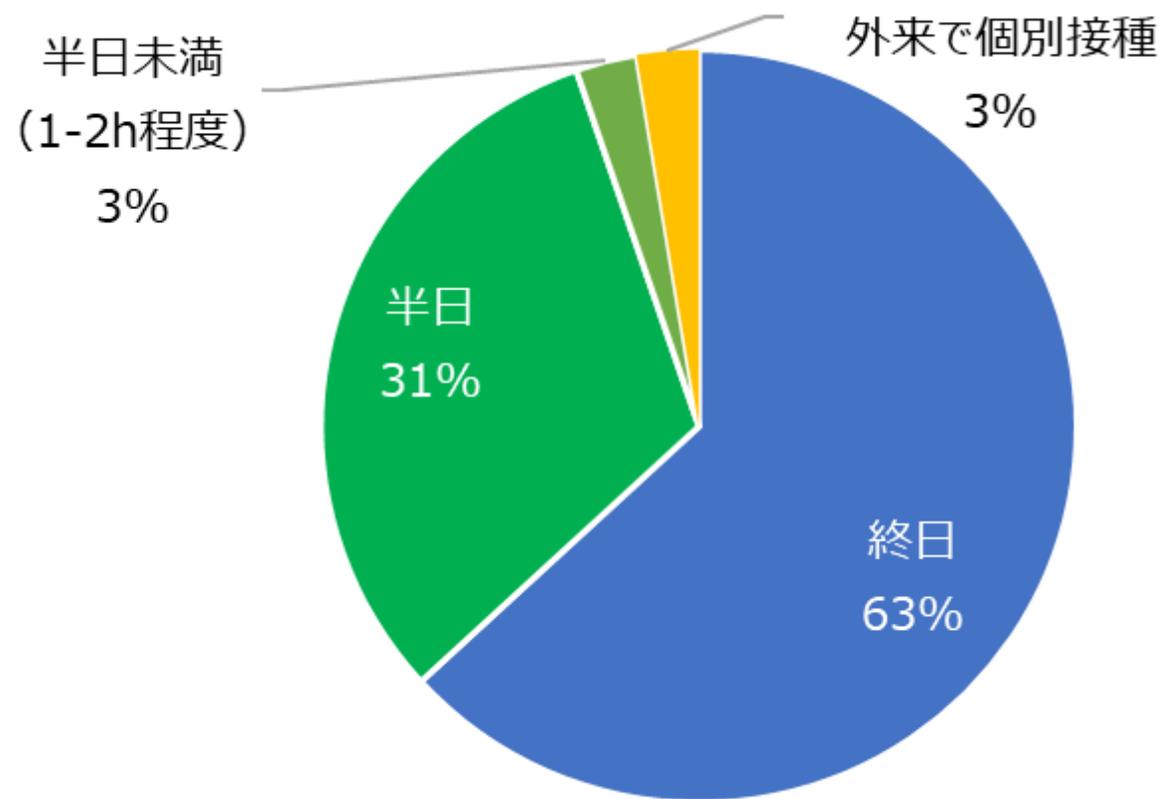
- 企業内診療所で実施（接種場所は会議室などで構わない）
- 社外の医療機関へ委託し、外部医療機関による訪問接種をしてもらう（グループ親会社主導を含む）
- 外部医療機関へ委託し、外部医療機関で接種してもらう（グループ親会社主導を含む）
- グループ親会社での職域接種で接種してもらう
- 同業種、同地域など複数社での合同職域接種で接種する（グループ会社合同を除く）
- 職域接種は行わない（自治体、大規模接種センター等での接種を利用）
- その他

# 企業内で職域接種を行う場合の回答 (企業内診療所で実施と回答した38件を集計)

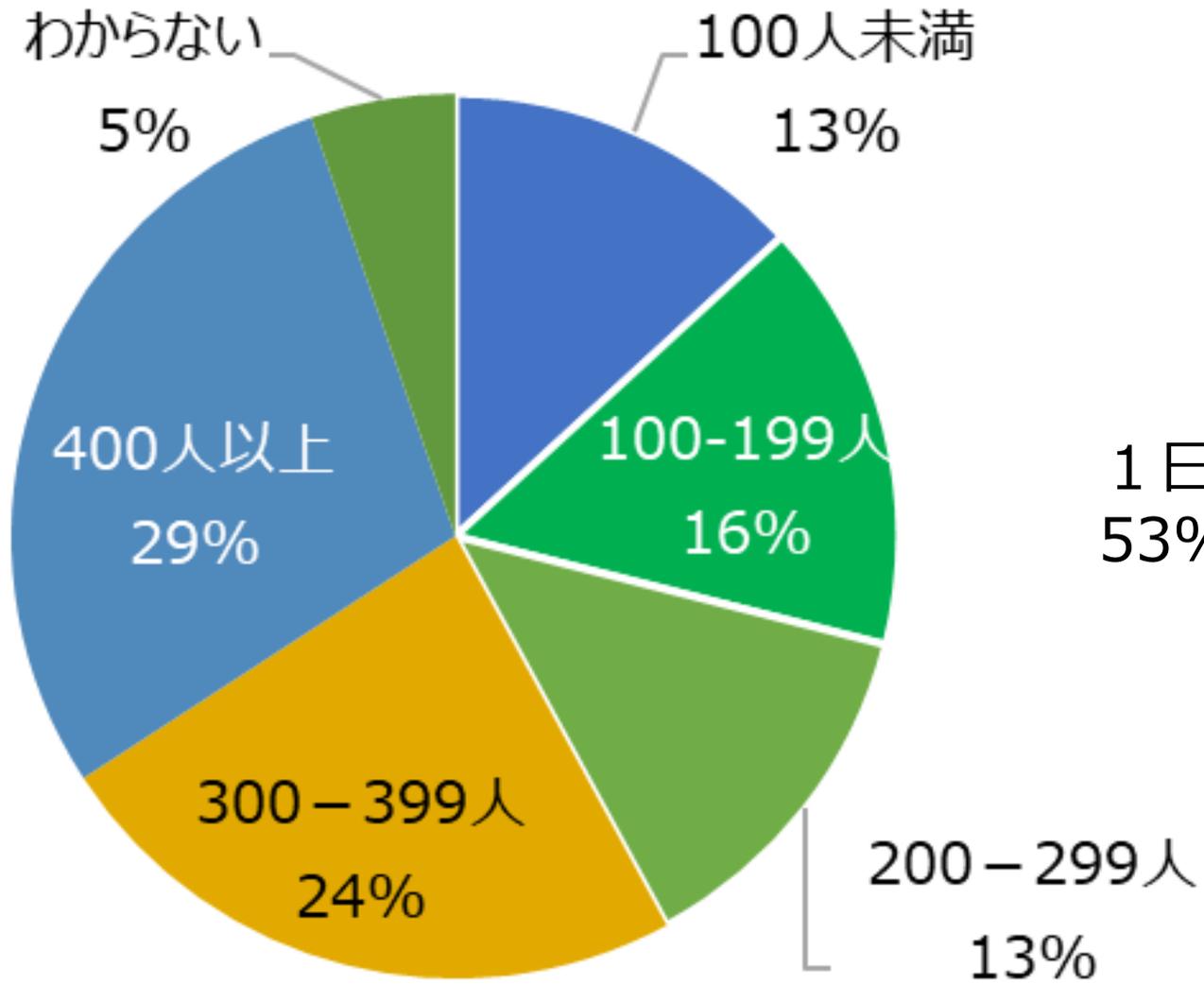
## 職域接種の開始時期



## 職域接種の1日当たり対応時間

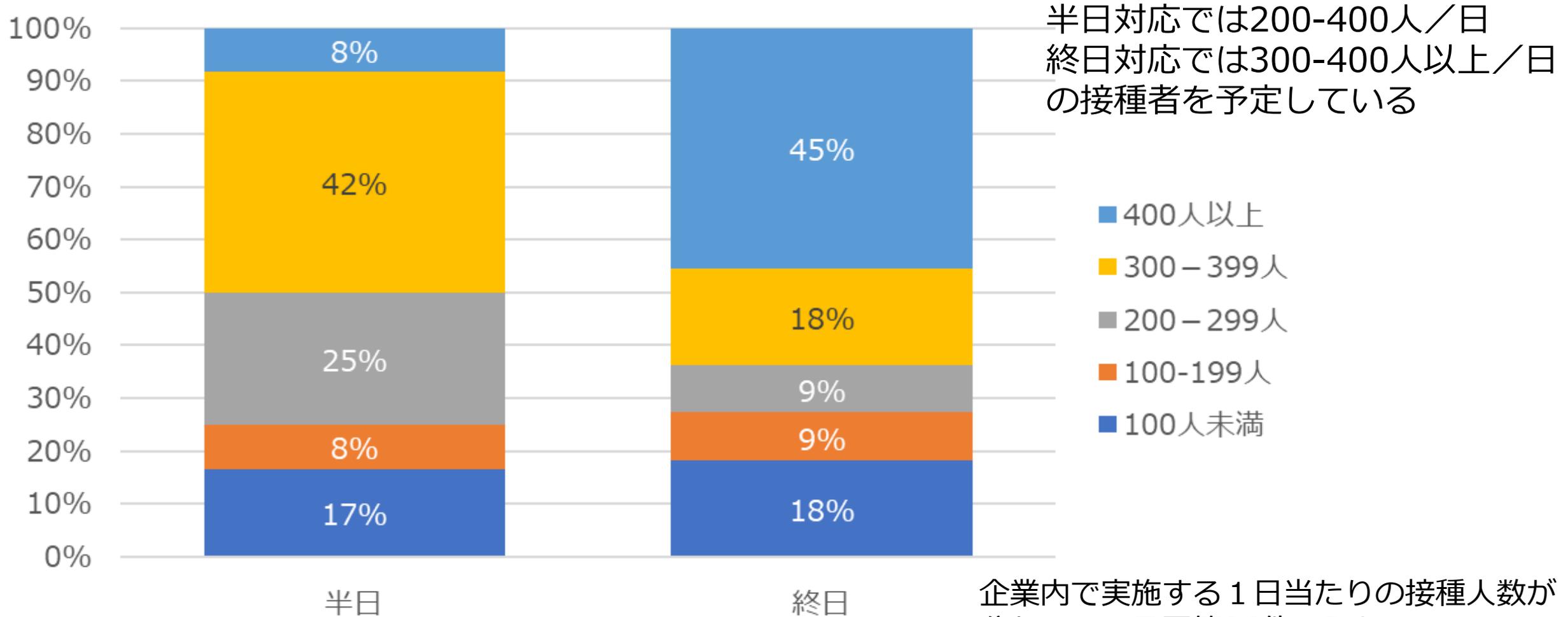


# 1日当たり接種人数



1日当たりの接種人数は300人以上が53%と半数以上を占めた

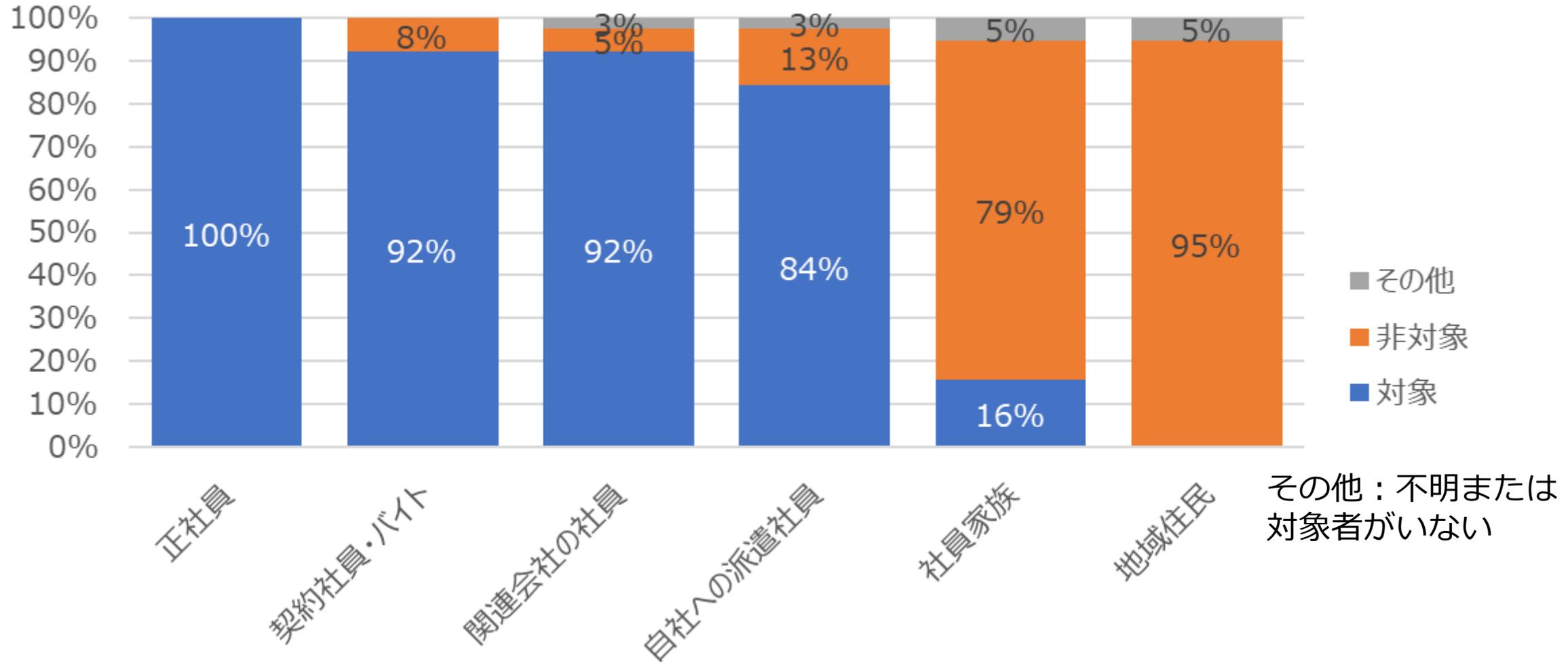
# 1日当たり接種人数別の実施時間割合



半日対応では200-400人/日  
終日対応では300-400人以上/日  
の接種者を予定している

企業内で実施する1日当たりの接種人数が分かっている回答36件のうち、外来接種1件、1日未満の1件を除外した34件を集計。

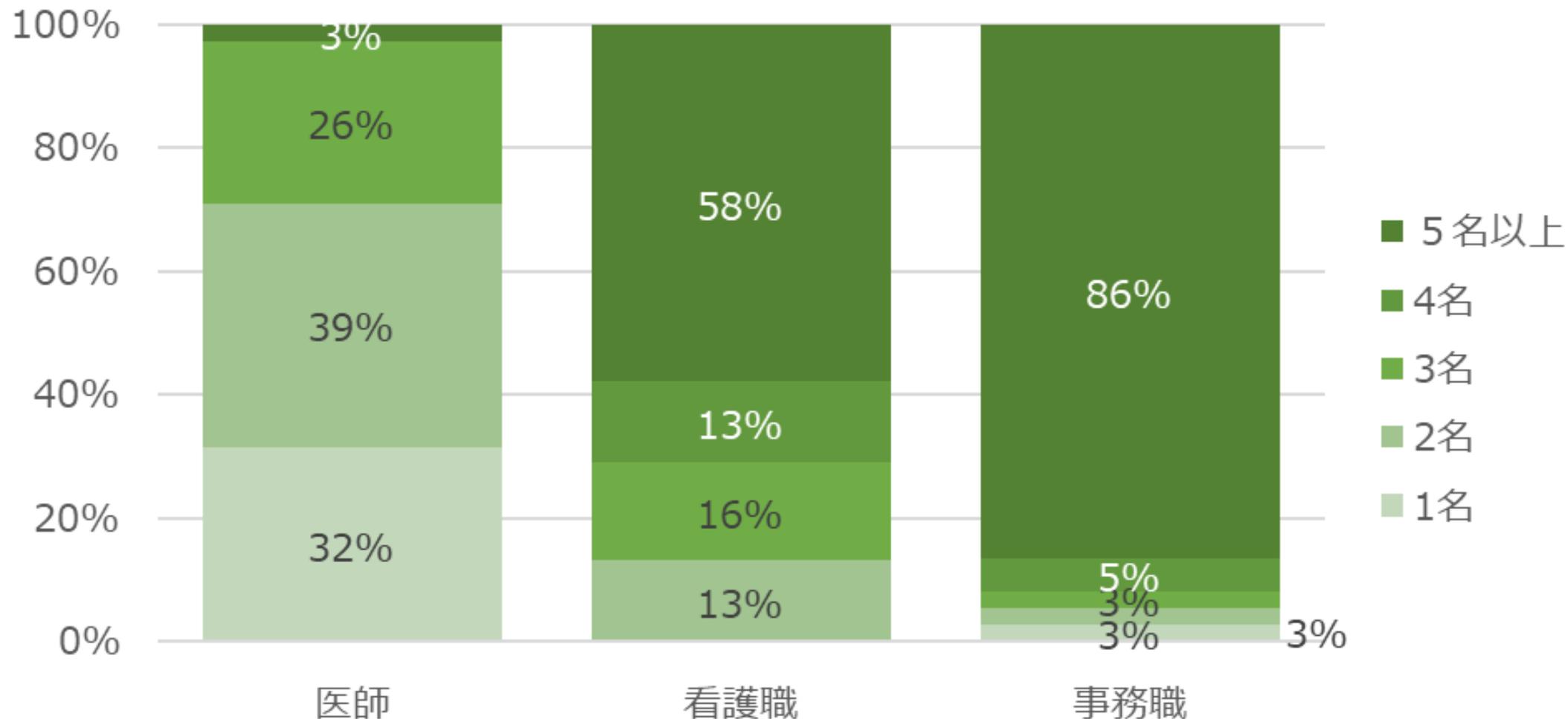
# 企業内で職域接種する場合 ワクチン接種の対象者



関連会社や派遣社員まで対象者に行っている事業所が多い  
一方、社員家族や地域住民までは対象に行っていない事業所が多い

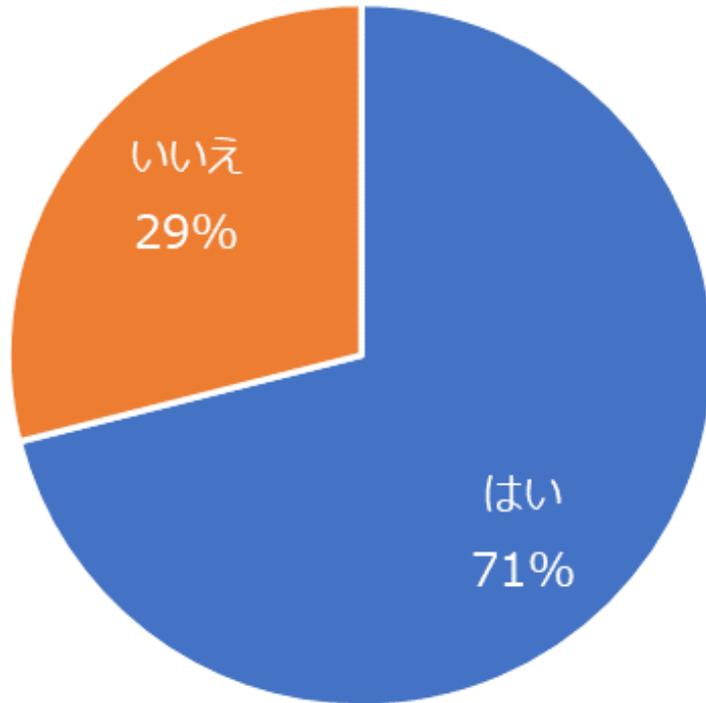
企業内で職域接種を実施する38件の回答を集計

# 職域接種への人員配置



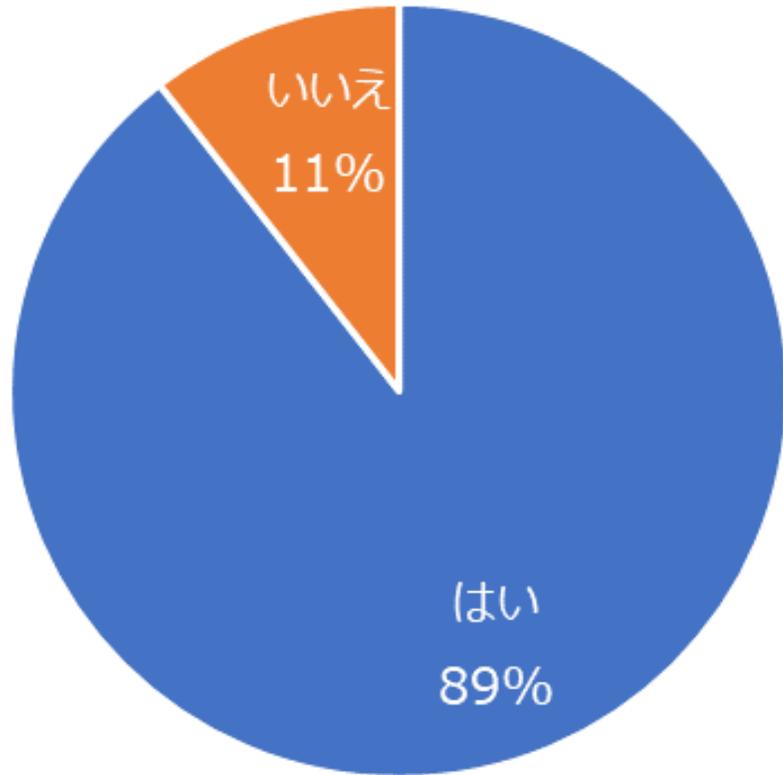
最頻値は医師2名、看護職5名以上、事務職5名以上であった。  
職域接種説明会では、1日当たり280人接種するために、医師2名、看護職5名、事務職8名の配置が例示されており、その配置に準じた結果となった。

# 社外の医療職を動員しているか



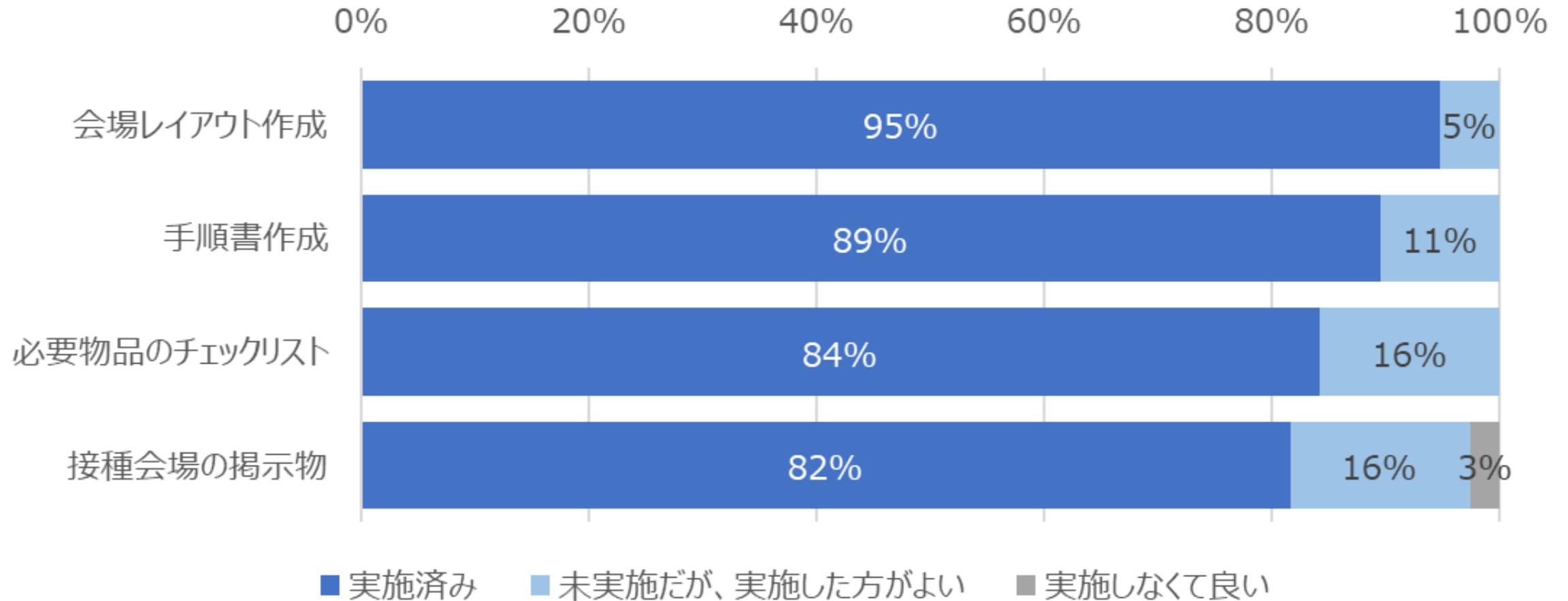
- 7割の事業所で社外の医療職を動員していた
- 社外の医療職を動員していない事業所では
  - 「医師1名、看護職2名」（接種者平均100名/半日）
  - 「医師2名、看護職5名以上」（接種者平均250名/半日）の配置が多かった。

# 企業内の医療職以外（産業保健部門以外）から 事務員などの応援

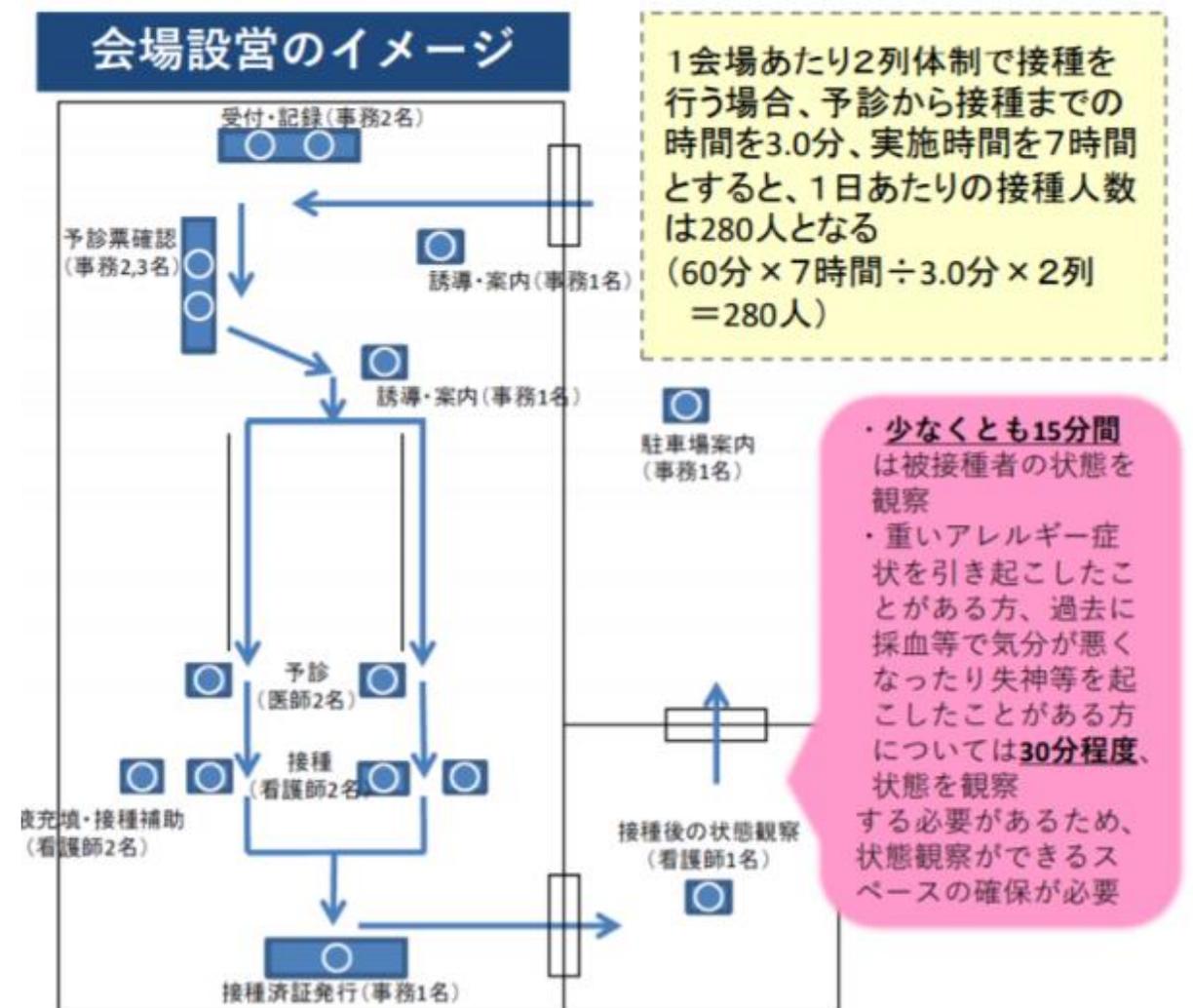


約9割の事業所で、産業保健部門以外から事務員の応援を受けていた

# 企業内ワクチン接種に向けて準備していること



# 日本経団連が6月4日に開催した職域接種説明会で提示されたレイアウトの例

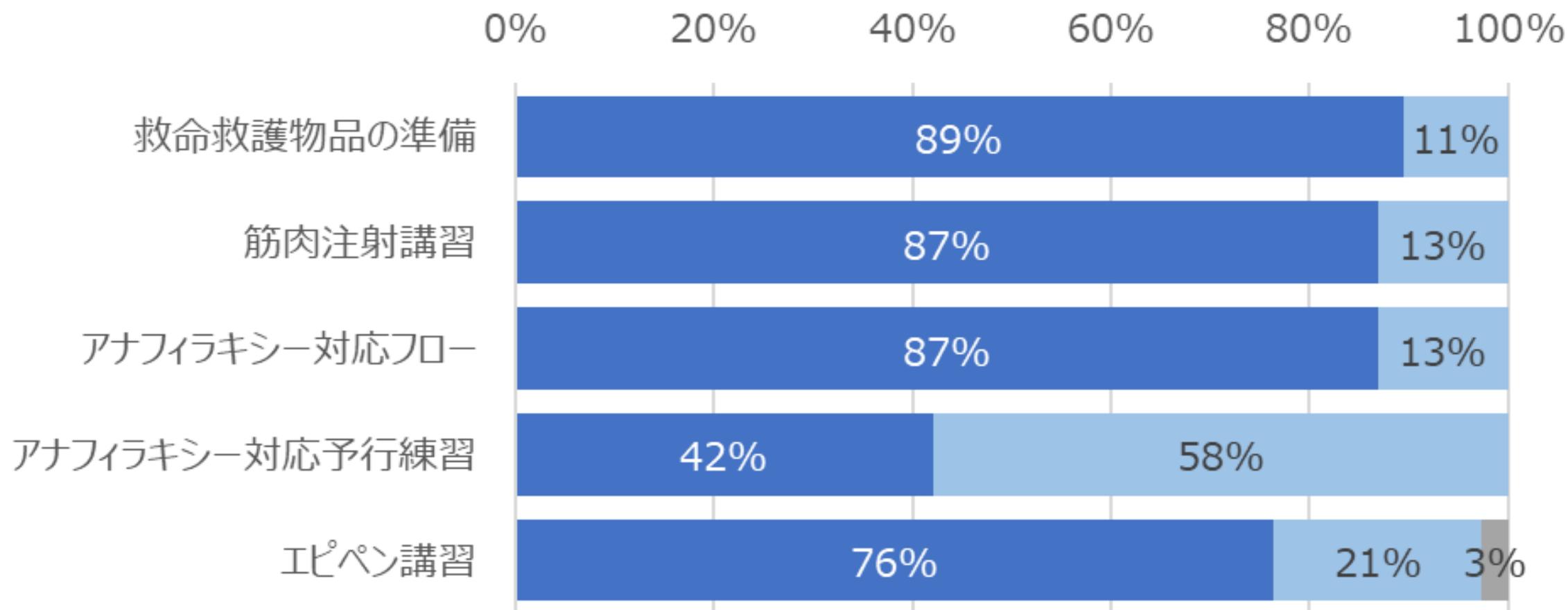


新型コロナウイルス感染症に係る  
予防接種の実施に関する  
職域接種向け手引き  
(第3版)

手引き (第3版)

レイアウトの出典は  
市町村のための新型インフルエンザ等住民接種に関する集団的予防接種のための手引き (暫定版)

# 医療職で準備していること



■ 実施済み ■ 未実施だが、実施した方が良いと思う ■ 未実施だが、実施しなくて良いと思う

# 新型コロナワクチン より安全な 新しい筋注の方法 2021年3月版

製作・監修

日本プライマリ・ケア連合学会  
予防医療・健康増進委員会 ワクチンチーム



[プライマリケア  
連合学会 筋注の方法](#)

## [エピペンサイト](#)

### 医療関係者 のためのページ

製品・疫学情報をはじめ、患者さまへの説明に役立つ情報をお届けします。  
エピペンを処方または常備するためのオンライン講習はこちらです。

#### エピペンオンライン登録講習

オンライン登録講習の所要時間は約 **20分**

- ✓ 24時間いつでも受講が可能
- ✓ 登録完了メール受信後、すぐに処方・常備が可能



# アナフィラキシー対応・簡易チャート

詳細は日本アレルギー学会のアナフィラキシーガイドラインをご覧ください。 [https://anaphylaxis-guideline.jp/pdf/guideline\\_slide.pdf](https://anaphylaxis-guideline.jp/pdf/guideline_slide.pdf)

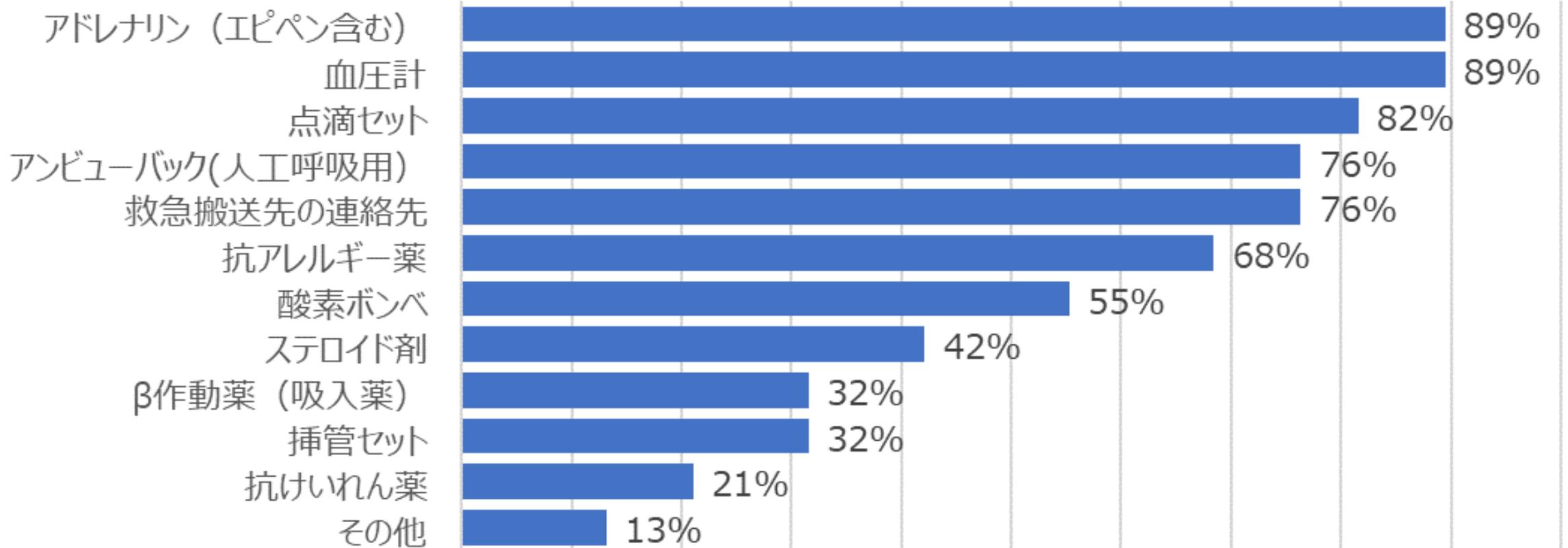


監修：一般社団法人日本救急医学会

ワクチン接種会場におけるアナフィラキシー対応簡易チャート

# 準備済みの救急薬品、物品

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



アナフィラキシーに対応するためアドレナリン、血圧計、点滴セット、

# 職域接種に必要なとなる 代表的な薬品・物品

新型コロナウイルス感染症に係る  
予防接種の実施に関する  
職域接種向け手引き  
(第3版)

## 手引き (第3版)

### iv 救急用品

接種実施医療機関等の救急体制を踏まえ、必要な物品を準備すること。代表的な物品を以下に示す。

- ・ 血圧計、静脈路確保用品、輸液セット、生理食塩水
- ・ アドレナリン（エピネフリン）（※）、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液

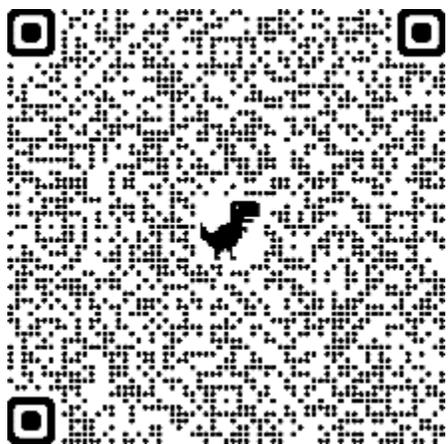
※救急用品として具備するアドレナリン（エピネフリン）製剤については、病院等においては、原則としてアンプル製剤（ボスミン®注 1mg）又はシリンジ製剤（アドレナリン注 0.1%シリンジ「テルモ」）によることを想定している。特設会場等については、自己注射薬（エピペン®）によることも想定される。

新型コロナウイルスワクチン接種にともなう  
重度の過敏症（アナフィラキシー等）の管理・診断・治療

一般社団法人 日本アレルギー学会

令和3年3月12日 改訂

## 医療機関での接種で、 治療完結までを想定した装備



- 血圧計、静脈路確保用品、輸液セット
- アドレナリン注射薬 0.1%（2本以上）
  - ポスミン®注 1mg またはアドレナリン注 0.1%シリンジ「テルモ」
  - 自己注射薬「エピペン®注射液 0.3mg」でも可
- 生理食塩水 20mL（5本以上）/500mL（2本以上）
- ヒスタミン H1 受容体拮抗薬（5錠以上）、
  - PEG（マクロゴール）を含まないもの（例 ピラノア錠、ルパフィン錠、アレグラ OD 錠など）を推奨
- 副腎皮質ステロイド薬注射薬（2本以上）
  - ヒドロコルチゾン（ハイドロコートン®、ソル・コーテフ®、サクシゾン®など）  
またはメチルプレドニゾロン（ソル・メドロール®、ソル・メルコート®など）
  - PEG、ポリソルベートを含むものは不可（例 デボ・メドロール®）

抗ヒスタミン薬でもPEG  
が入っているものもある  
ので注意

ハイリスク症例での接種に際しては、上記に加えて標準的な救急カート、少なくとも以下の医薬品と医療備品をワクチン接種現場に備えることが望ましい。

- パルスオキシメーター
- 酸素ボンベ（流量計と延長チューブ付き）、経鼻カニューレ・使い捨てフェイスマスク
- 挿管セット
- ヒスタミン H1 受容体拮抗薬注射薬（2本以上）
- 吸入短時間作用性 $\beta_2$ 刺激薬（pMDI）とスプレーサー（2セット以上）
- グルカゴン（ $\beta$ 遮断薬を投与中で、アドレナリンが無効の場合に使用）

## 産業保健職の医療事故・医療過誤リスクを避けるための工夫があれば記載ください

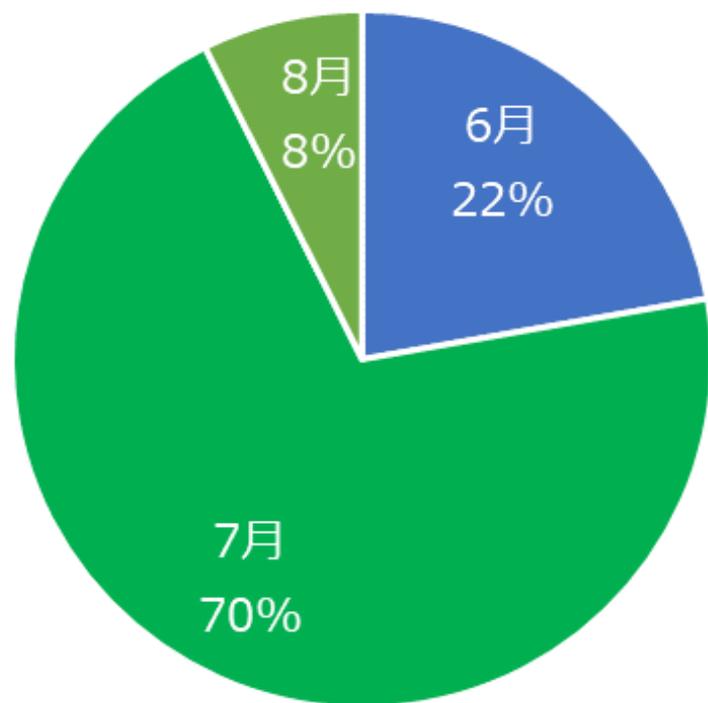
- 針刺し事故など危険予知活動
  - 無理のないペース設定
  - 何らかの病気治療中の方については、おくすり手帳等を持参するように指導している。
  - 事前のマニュアルや訓練の実施
  - 挿管セットは慣れない場所での対応で挿管による医療事故のリスクがあると考えたため、アドレナリンなど筋注対応の最低限の医薬品を置くこととした。
- 
- 賠償保険への加入
  - 新規に保険加入済
  - 日常的に医療保険に加入している
  - 社内診療所として医療賠償保険に加入済み
  - 賠償保険は加入しています。外部応援者も含めカバーできるようにしています。
  - 民間保険会社の医賠償保険に加入し、特約で参加する医療職全体が保険対象としています。

# 外部委託の職域接種を行う場合の回答

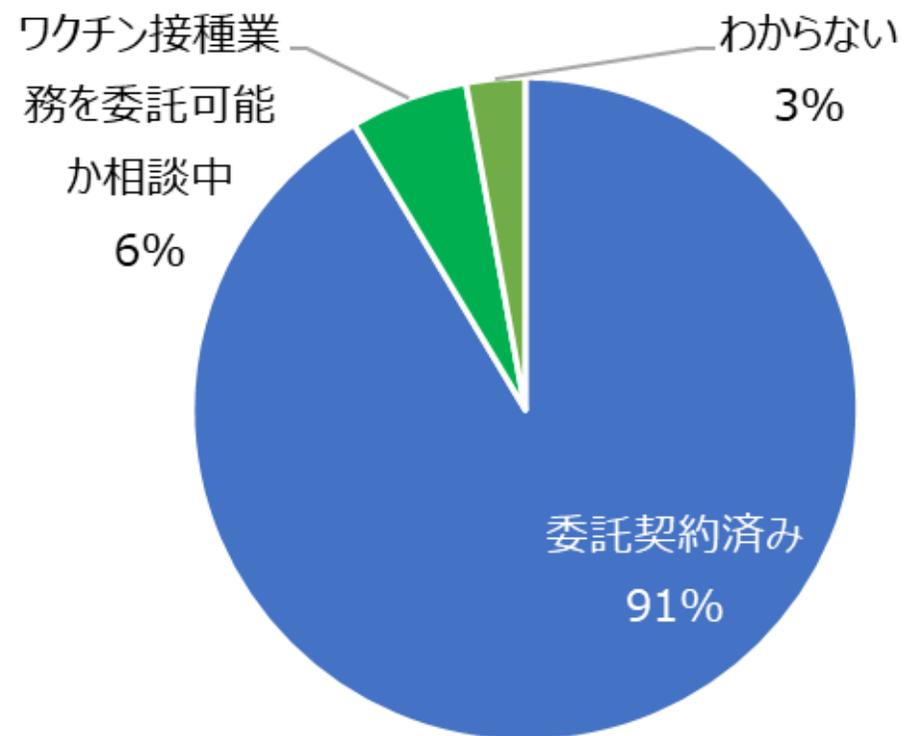
ワクチン接種の方針で、以下の回答であった35件を集計

- グループ親会社での職域接種で接種してもらう
- 外部医療機関へ委託し、外部医療機関で接種してもらう（グループ親会社主導を含む）
- 社外の医療機関へ委託し、外部医療機関による訪問接種をしてもらう（グループ親会社主導を含む）
- 同業種、同地域など複数社での合同職域接種で接種する（グループ会社合同を除く）

# 職域接種の実施予定時期、委託契約状況

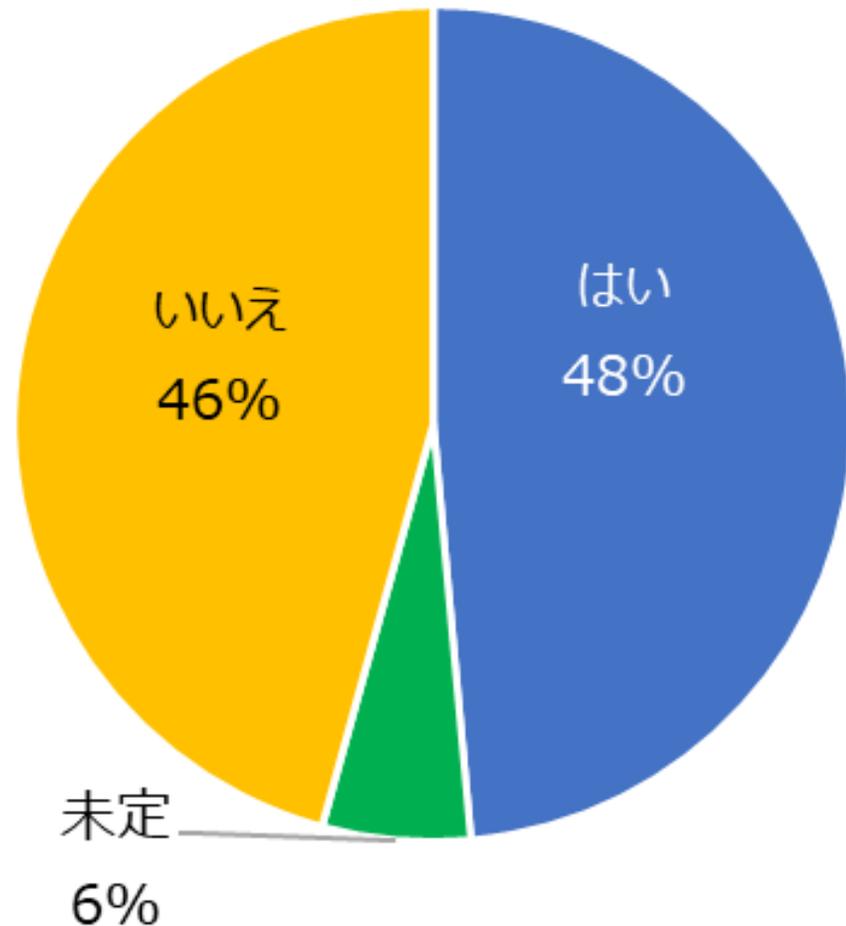


企業内で実施する事業所より、7月に実施開始予定が20%ほど多い



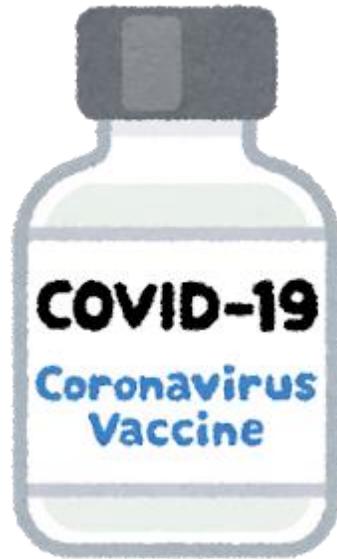
6/7-11に本研究会で実施したアンケート（回答者は今回と異なる）では、契約済みは11.5%にとどまっていたが、90%以上が契約済みとなっている

産業医や保健師など企業内の医療職は外部委託先の  
行う職域接種に予診、接種担当者として参加しますか？



職域接種を外部委託する場合も半数は  
社内の医療職を応援に出す予定

ご回答いただきました会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



- 新型コロナウイルス感染流行の一日も早い収束を願っております。
- 本アンケート結果が新型コロナワクチン職域接種の一助となれば幸いです。